

2026（令和8）年度

京都大学教育学部  
学士入学  
試験問題

※選択されなかった外国語科目については掲載していません。

2026年度

京都大学教育学部  
学士入学試験問題

外国語

英語

注意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。(※印のところは記入しないこと。)
3. 出願の際に届け出た受験外国語科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。(各問1枚とする。)  
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。  
提出する解答用紙は2枚である。  
解答用紙の表だけでなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆に  
して続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

英 語
-----

- I. 次の文章の下線部(1)(2)をすべて和訳しなさい。なお、それぞれ解答の最初に(1)(2)の番号を記入すること。(50点)

【問題文】

(問題文略一後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Tomasello, M. How to make artificial agents more like natural agents. *Trends in Cognitive Sciences*, September 2025, Vol. 29, No. 9. DOI: 10.1016/j.tics.2025.07.004. の p. 783 1 段落 1 行目~2 段落 18 行目を引用した。

なお、下線部(1)は p. 783 1 段落 1 行目「A large language model」~18 行目「as necessary.」の文を、下線部(2)は p. 783 2 段落 13 行目「In the natural world.」~18 行目「in goal pursuit.」の文を指す。

II. 次の文章の下線部(1)～(3)をすべて和訳しなさい。なお、それぞれ解答の最初に(1)～(3)の番号を記入すること。(50点)

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Jeffs, T. & Mark, K.S. (2005). *Informal education: Conversation, democracy and learning*. Nottingham: Educational Heretics Press. の8頁3行目～9頁6行目を引用した。

なお、下線部(1)は8頁3行目「Much learning」～8頁8行目「simply occurs.」の文を、下線部(2)は8頁19行目「Trying to understand」～8頁25行目「learning will occur.」の文を、下線部(3)は8頁34行目「Self-education」～9頁4行目「in self-education.」の文を指す。

2026年度

京都大学教育学部  
学士入学試験問題

外国語

フランス語

注 意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
3. 出願の際に届け出た受験外国語科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）  
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。  
提出する解答用紙は2枚である。  
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆に  
して続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

## フランス語

I. 次の仏文を日本語に全訳しなさい。(50点)

**【問題文】**

(問題文略一後掲<注意>を参照のこと)

**<注意>**

問題文は、Michel Duffour, Daniel Monteux, Yves Schwartz. L'Université: De la crise au changement. Paris: Editions sociales, 1978.の179頁18行目~180頁6行目を引用した。

Ⅱ. 次の仏文を日本語に全訳しなさい。(50点)

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Caroline Eliacheff, Céline Masson. La fabrique de l'enfant-transgenre. Paris: Éditions de l'Observatoire, 2022. の9頁1行目～10頁5行目を引用した。

2026年度

京都大学教育学部  
学士入学試験問題

一般教育科目

注 意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。(※印のところは記入しないこと。)
3. 問題Ⅰは現代教育基礎学系、問題Ⅱは教育心理学系、問題Ⅲは相関教育システム論系からの出題である。計3問のうち、入学志願票に記入した第1志望系と第2志望系の問題、計2問を必ず選択すること。志望系の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。(各問1枚とする。)  
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。  
提出する解答用紙は2枚である。  
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

## 一般教育科目

次のⅠ～Ⅲの3問のうち、入学志願票に記入した第一志望系と第二志望系の問題、計2問を選択して解答しなさい。

(100点 (50点×2問) )

〈現代教育基礎学系〉

- Ⅰ. 近年、学習者主体の教育を重視する動向がある。このような動向について、具体例を挙げて説明するとともに、その意義と課題を論じなさい。

〈教育心理学系〉

- Ⅱ. 非言語的なコミュニケーションについて、どのように研究されてきたか、(A) 実験心理学、(B) 臨床心理学の各々の観点から論じなさい。

〈相関教育システム論系〉

- Ⅲ. 「教育」と聞けば学校教育を連想しがちであるが、それが教育の全てではない。学校外の教育に関わる場や現象の具体例を挙げた上で、その教育的意義と課題について、学校教育との比較を行いながら論じなさい。